

2019年7月29日

「独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校と
公益社団法人日本技術士会 中国本部との連携・協力に関する協定」の締結について

公益社団法人日本技術士会

中国本部長 大田 一夫

この度、呉工業高等専門学校と日本技術士会中国本部は、「21世紀の中核となる技術者の人材育成支援を推進し、もって地域社会の発展に貢献すること」を目的に、連携協力に関する協定を締結することになり、その調印式を下記の通り実施しましたので、お知らせします。

日時：2019年7月26日(金) 11:00～11:30

場所：呉工業高等専門学校 管理棟3階 第2会議室

両者が連携協力する事項は、以下のとおりです。

- (1) 技術士、教職員双方の資質向上に向けての活動に関する事
- (2) 学生の教育支援及び社会貢献活動に関する事
- (3) その他、学校教育の向上等に関し必要と認められる事項に関する事

「技術士」資格は、医学と建築を除く科学技術に関するほぼ全ての分野（即ち機械・電気電子・情報工学・建設・環境など全部で21の技術部門）をカバーしており、言わば国(文部科学省)によって科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者の称号であり、技術者(エンジニア)にとって最も権威のある国家資格と言われております。研究者が「博士」を目指すと同様に、技術者が目指すべき資格と言えます。さらに、「技術士」は、「技術士法」により高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上に努めることが責務となっております。

公益社団法人日本技術士会は、このような技術士制度の普及、啓発を図ることを目的とし、技術士法により明示された我が国で唯一の技術士による公益法人として、1951年に設立され、2016年に創立65周年を迎えており、現在(本年5月)の会員数は、正会員(技術士)15,549名、準会員(修習技術者)3,334名で、そのうち中国本部は正会員760名と準会員159名を合わせて919名であり、その半数の459名が広島県在住となっております。

日本技術士会と高専がこのような協定を締結した例は、2011年の北海道本部と道内4高専(函館・旭川・苫小牧・釧路)の同時締結が最初で、続いて2013年に中国本部岡山県支部と津山高専、2014年に四国本部と香川高専、そして本年2月の中国本部山口県支部と徳山高専が締結した以外はなく、今回で5度目、高専として8校目となります。

連携協力の具体的な内容は、これからの協議によりますが、以下が想定されます。

- ・ 呉高専の授業への技術士の派遣、中国本部主催の講演会の講師として教員の派遣
- ・ 小中学生に対する理科教室の開催
- ・ 市民への防災教育、災害被災地への復興支援活動
- ・ 呉高専の研究シーズと企業ニーズを結び付けることによる新技術・新産業の創出



左が日本技術士会中国本部の大田本部長、右が呉工業高等専門学校の篠崎校長



参加者全員による記念写真